



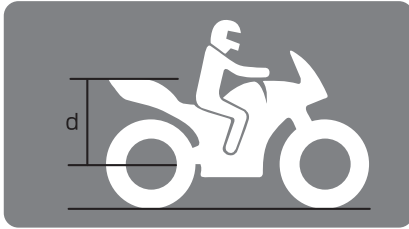
OWNER'S MANUAL

製造元 : 有限会社トップラインプロダクト
〒277-0941 千葉県柏市高柳1147-2
TEL 04-7190-1391

発売元 : Mototech^{LLC} MCパーツ事業部
〒424-0926 静岡県静岡市清水区村松624-38
TEL 054-368-4010 FAX 054-340-3242
<http://www.aragosta-mc.jp>

アラゴスタモーターサイクルサスペンションシステムを最高の状態で
お使いいただくためには、取り付け後の車体のセットアップが必要です。
このマニュアル内車体のセットアップを参考に実施して下さい。

d) 次に同じ計測をライダーが乗った状態で計測し距離“d”を測りメモする。ライダーは、正確なライディングポジションをとりこの計測を複数回行います。



推奨値

車高が特別でない限り、以下の方法で計測して下さい。

【1G】

距離(b)－距離(c)＝1Gと呼びます。1G時の推奨値は、ホイールトラベルの約10%です。

【乗車1G(1G')】

距離(b)－距離(d)＝1G'と呼びます。1G'時の推奨値は、ホイールトラベルの約20～30%です。

※ホイールトラベルとは、スイングアームアクスル部のストローク有効長のことです。(約120mm)
詳細は、車両メーカーホームページなどの車両諸元表を参照して下さい。

4 スプリングプリロードの調整

もし1G'の値が推奨値から外れている場合、スプリングシートで調整しなければなりません。(5のプリロード調整の仕方を参照して下さい。)不適正なスプリングを選択すると、ジオメトリーに悪影響を及ぼします。

ジオメトリーが寝すぎるか、立ちすぎることとなります。結果バイクのオーバー/アンダーステアをより助長することになります。これはそのバイクが本来持っているハンドリングキャラクターに悪影響を及ぼすこととなります。

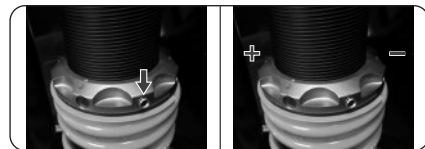
⚠ NOTE!

もしプリロード調整後も1G'が推奨値に入らない場合は、スプリング交換が必要になります。スプリングプリロードはスプリング全長から5mm以上20mm(205mm スプリングは25mm)以下で使用して下さい。

5 プリロード調整の仕方

【調整の仕方は、以下の通りです】

スプリングシートのロックボルトを緩めて下さい。(最大2回転)
スプリングシートを回転させます。
+方向に回転させるとプリロードは、増加し、
-方向に回転させるとプリロードは、減少します。1回転で1.5mm移動します。



調整後、ロックボルトを締めて下さい。

6 伸び側減衰力

伸び側減衰力は、ショックが圧縮され元の場所に戻ろうと伸び始めるとき、その圧力を減衰し戻すスピードをコントロールします。

【伸び側減衰調整】

ショック下部に図のような減衰調整機構が付きます。六角レンチを差し込み調整します。時計回りで回すと減衰は強くなり、反時計回りで回す減衰は弱くなります。

【調整のリセットの仕方】

六角レンチで時計回りに止まるまで締めます。そこから1段戻したところがゼロ(0)ポジションになります。ここを基準に反時計回りで調整して下さい。1クリックごとポジションを読んで下さい。



⚠ 注意!

クリックの調整に必要な以上の圧力をかけないようお願いします。締めこんで軽く止まったところがフルクローズ、緩めて軽く止まったところがフルオープンです。必要以上の圧力をかけると内部パーツが破損する恐れがあります。

7 縮み側減衰力

サブタンク付きショックに関しては、縮み側の減衰力を調整することができます。ショックが縮む時の圧力を減衰し、そのスピードをコントロールすることができます。

アラゴスタサスペンションシステムは、縮み側に2つ減衰調整機構を設けています。低速側のLSと高速側のHSになります。



縮み側減衰調整】

サブタンク側に設置されている減衰調整機構に六角レンチを差し込み調整します。

時計回りで回すと減衰は強くなり、反時計回りで回すと減衰は弱くなります。

LSダイヤルは、ショックスピードが遅い範囲内で発生する減衰力の問題に対応します。(例:ショックの初期作動に対応します。インシヤルが硬い又は、柔らかい等の問題に対応します。)

HSダイヤルは、ショックスピードが速い範囲内で発生する減衰力の問題に対応します。(例:道路の弾みを速い速度で通過する時の硬い又は、柔らかい等の問題に対応します)

⚠ NOTE!

スプリングプリロードは、サスペンション機能の根幹をなすところです。もしこれが正しく調整されていないと、ショックの減衰調整等を施しても、それが性能に正しく反映されないこととなります。

⚠ 注意!

しめすぎるとネジピッチが破損する恐れがあります。

【調整のリセットの仕方】

6角レンチで時計回りに止まるまで締めます。そこから1段戻したところがゼロ(0)ポジションになります。ここを基準に反時計回りで調整して下さい。1クリックごとポジションを読んで下さい。

⚠ 注意!

クリックの調整に必要な以上の圧力をかけないようお願いします。締めこんで軽く止まったところが、フルクローズ、緩めて軽く止まったところが、フルオープンです。必要以上の圧力をかけると内部パーツが破損する恐れがあります。

8 ショック全長調整

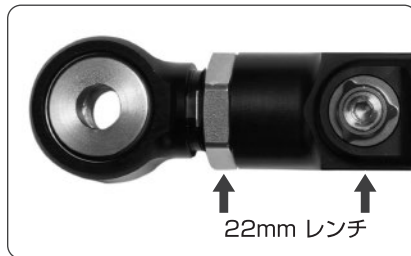
アラゴスタサスペンションシステムには、ショック全長調整機能が付いております。全長調整は、前途の1Gを変更せずに車高を調整することができます。

⚠ NOTE!

小さな調整で大きな変化をもたらしますので、調整には、十分注意して下さい。

【全長調整】

ショックをバイクから取外して調整することをお勧めします。
22mmのレンチでマウンティングアイを固定し、22mmのレンチでロックナットを緩めます。1回転1mm長さ変化します。ロックナットの締め付けトルクは、40Nmです。



⚠ NOTE!

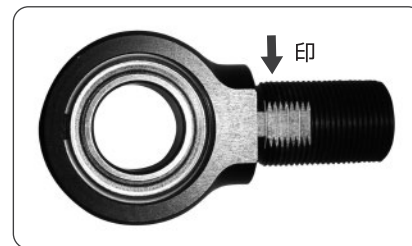
調整前後に車高は、必ず確認して下さい。

⚠ 注意!

調整後のロックナット締めつけを忘れずに!!

⚠ 警告!

全長調整のマウンティングアイ/フォークを伸ばす時は印がロックナットの下に見えなくなった時点でそれ以上延ばさないようにして下さい。これ以上伸ばすと欠損、事故等の重大な結果を招く恐れがあります。



9 メンテナンスと点検

定期的なメンテナンスと点検をすることによって、機能的傷害を受けるリスクを少なくすることができます。

【推奨するO/Hサービスの間隔】

通常ストリート使用で15,000km/毎

【廃棄】

廃棄する場合は、整備工場又は、解体業者等の専門家に相談して下さい。

【点検ポイント】

- 1) ピストンロッドにダメージがないかチェックして下さい。
- 2) ショックボディ外観にダメージがないかチェックして下さい。
- 3) サブタンク外観にダメージ又は、リークがないかチェックして下さい。
- 4) ラバー類に損傷又は、摩耗がないかチェックして下さい。
- 5) ポールジョイントが遊んでいたり、固着していないかチェックして下さい。

⚠ 注意!

窒素ガスの注入口は、絶対に開けないで下さい。再注入には、特殊工具が必要になります。

メンテナンスとオーバーホール受け付け先

Mototech.LLC MCパーツ事業部
〒424-0926 静岡県静岡市清水区村松624-38
TEL 054-368-4010
FAX 054-340-3242

または、お近くのアラゴスタモーターサイクルサスペンションシステム取り扱いショップまでご相談下さい。

MEMO

WARRANTY CARD 【保証書】

【販売店様】

【保証規定】をお客様に熟読して頂き、ご理解頂いた上でご記入下さい。

記入せず販売した場合は保証を適用する事はできません。

(保証シールや販売証明書なども適用になりません)

機能上影響がないと認められる感覚的現象(アルマイト退色やクリック感触など)は保証規定は適用しません。

車種		品番	
お客様	お名前		様
	ご住所 〒		
	電話番号		
お買い上げ日		★取扱販売店名・住所・電話番号	
年 月 日			
保証期間(お買い上げ日より)			
3ヶ月			

★欄に記入のない場合は有効となりません。必ずご記入下さい。

もし、記入がない場合には直ちにお買い上げの販売店にお申し出下さい。

本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保存して下さい。

出荷時データ

ショック長	mm
設定長	mm
エンドアイ	
レート	kgf/mm
ten	段
H:com	段
Lo com	段
プリロード	mm